

明るく元気の出る町

平成9年12月1日発行・毎月1日 編集・発行／秋田県東由利町役場企画課

広報

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

1997 12

NO.513



それぞれが楽しんだ
産業文化祭

11月1日～2日



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」



上空から見たふれあいプラザ“ふれっそ”と
2周年を迎えた「湯楽里」

四事業の竣工祝う

地域間交流、地域産業振興に期待

東由利町合同竣工式



▲関係者ら200人が竣工を祝い合った



▲式典では阿部幸悦町長が関係者に敬意と感謝の言葉を述べた

十一月七日、健康増進センターで、地場産業センター建設、農道、林道整備など四事業の竣工を祝い、合同竣工式を行いました。当日は関係者二百余人が出席、事業が無事完了したことを祝い合いました。

式典では阿部幸悦町長が、関係者に

事業概要

●東由利町地場産業センター建設事業
(愛称「ふれあいプラザ」ふれっそ)

- 一、所在地 老方字畑田地内
- 二、施設規模等

■構造 鉄骨造・平屋建

■延床面積 二、八九五・九㎡

- 三、事業費 四億七千八百四十九万二千円
(外構・駐車場・修景・設計監理費を含む)

●団体営農道整備事業

①釜坂地区

- 一、所在地 蔵字釜坂地内
- 二、工事内容 農道改良舗装

延長 一、五七〇m

幅員 二五・〇(四・〇)m

- 三、事業費 四千二百一十一万七千円

②細田地区

- 一、所在地 蔵字細田地内
- 二、工事内容 農道改良舗装

延長 一、〇三二m

幅員 二五・〇(四・〇)m

- 三、事業費 六千六百九十六万三千円

③稲子沢地区

- 一、所在地 法内字稲子沢地内
- 二、工事内容 農道改良舗装

延長 一、一〇〇m

幅員 二五・〇(四・〇)m

- 三、事業費 一億一千三百一十二万円

④中の沢地区

- 一、所在地 法内字中ノ沢地内

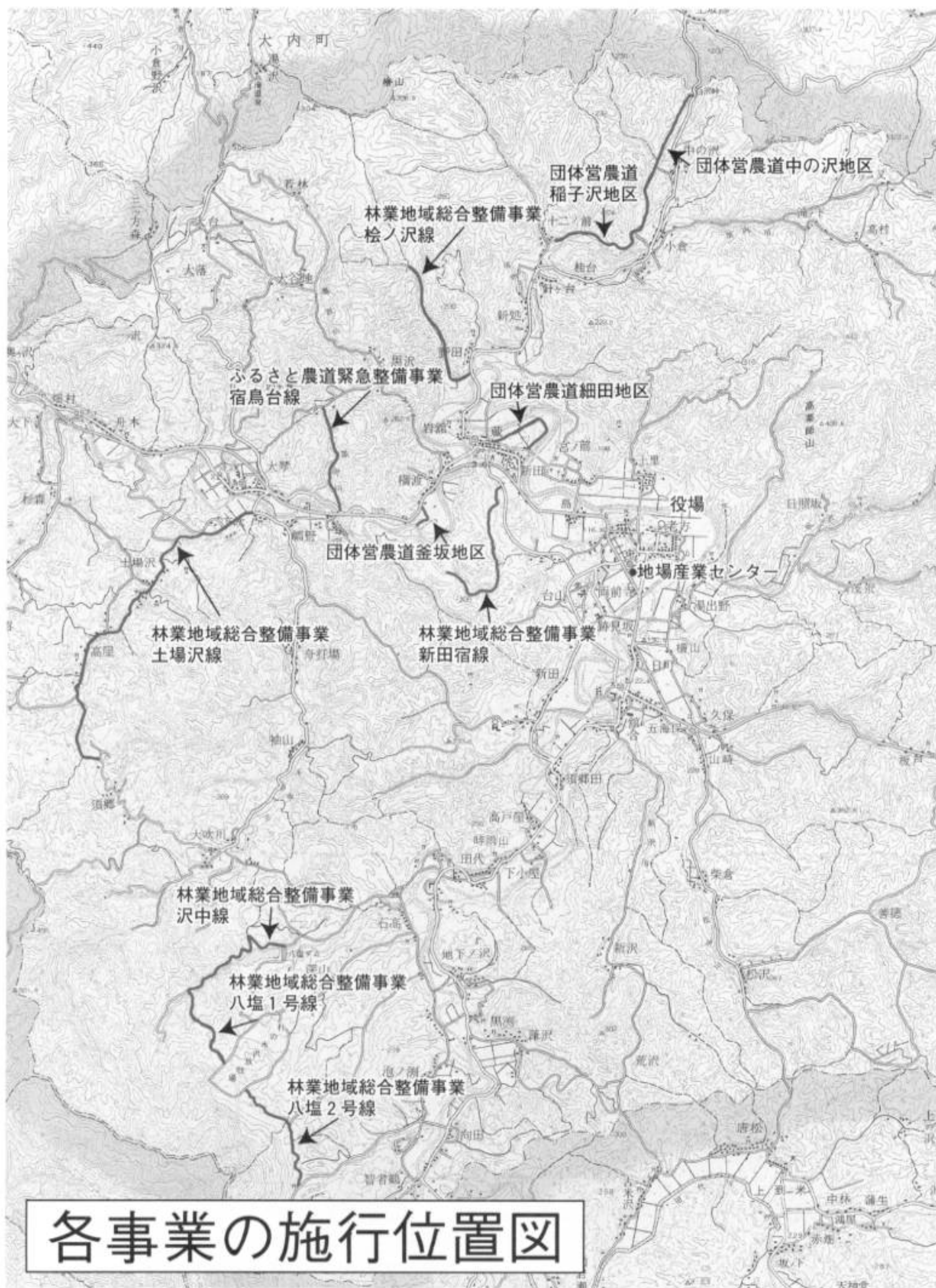
敬意と感謝の言葉を述べたあと「地域間交流の拠点としての『ぶれっそ』、また農林業の振興に不可欠な各農道及び林道の完成により、地域間交流がますます促進され、地域産業が振興されることを期待する」とあいさつ、その後、「ぶれっそ」建設工事に携わった各業者に感謝状が贈られました。

祝賀会では寿の舞などで宴を盛り上げ、最後に佐藤健一郎県議会議員の音頭により、皆で万歳三唱。各事業完了を祝いました。

地場産業センター「ぶれっそ」は地域の生活利便の向上と農産物の消費活動を図りつつ、観光などの地域情報の発信基地となり地域間交流を促進する

もの。

団体営農道整備事業は、平成四年度から五カ年で各地区の農道を整備、ふるさと農道緊急整備事業は平成五年度から九年度で完成しました。いずれも農地の有効利用や農作業の効率化、農業生産性の向上に大きな役割を果たしています。



各事業の施行位置図



▲ふるさと農道緊急整備事業「宿鳥台線」

- 二、工事内容 農道改良舗装
延長Ⅱ一、六三九m
幅員Ⅱ五・〇(四・〇)m
- 三、事業費 二億四百三万円

●ふるさと農道緊急整備事業

①宿鳥台線

一、所在地

- 起点…宿字森ノ越六一番地先
終点…蔵字横長根六七番地先
- 二、工事内容 農道改良舗装
延長Ⅱ一、二七二m
幅員Ⅱ五・〇(四・〇)m
- 三、事業費 二億四千二百九十万円

工事期間の一覧

■東由利町地場産業センター建設事業（継続事業）
平成8年11月6日～平成9年6月30日

■団体営農道整備事業

釜坂地区／平成5年1月13日

～平成7年7月28日

細田地区／平成5年6月2日

～平成7年10月26日

稲子沢地区／平成6年4月18日

～平成8年8月6日

中の沢地区／平成7年5月18日

～平成9年3月24日

■ふるさと農道緊急整備事業

宿鳥台線／平成5年11月30日

～平成9年11月25日

■林業地域総合整備事業

桧の沢線／平成3年8月6日

～平成7年9月29日

新田宿線／平成5年4月1日

～平成8年12月2日

土場沢線（県代行）／平成2年4月1日

～平成4年3月31日

八塩1号線／平成2年10月11日

～平成5年11月5日

八塩2号線／平成5年7月9日

～平成8年9月20日

沢中線／平成3年9月3日

～平成3年12月20日



▲林業地域総合整備事業により整備された「新田宿線」

林業振興、地域振興に重要な役割を持った林業地域総合整備事業の林道六路線は、平成二年度から八年度までの七カ年にわたり実施しました。

土場沢線は、秋田県代行事業として採択、実施したものであり、林道としての機能のほか、沿線集落間を結ぶ生活路線として大変よく利用されています。

また八塩一、二、沢中線は、町が進めている八塩地区開発のエリア内の林道であり、今後、八塩ダム周辺の黄桜、名水が湧き出るボツメキ水源など多くの人々が自然にふれあい、森林資源に親しむ場としての活用が期待されています。



●林業地域総合整備事業

① 桧の沢線

一、所在地

起点…法内字野田二〇—三

終点…法内字北ノ股三五

二、工事内容 林道開設

延長…二、六八五m

幅員…四・〇m

三、事業費 一億六千九百三十六万円



▲林業地域総合整備事業「桧の沢線」

② 新田宿線

一、所在地

起点…蔵字田子の沢九—一

終点…宿字荒山二八

二、工事内容 林道開設

延長…二、五〇七m

幅員…四・〇m

三、事業費 一億四千九百五十九万一千円

③ 土場沢線（県代行）

一、所在地

起点…宿字道の上二〇—一

終点…黒淵字下大平六

二、工事内容 林道改築

延長…三、四八五m

幅員…五・〇m

三、事業費 二億七千六百四十七万二千円

④ 八塩一、二、三号線

一、所在地

起点…田代字ヨシヤチ五五—一

終点…田代字深山二八—七

二、工事内容 林道開設・舗装

延長…一、五七二m

幅員…四・〇m

三、事業費 一億四千三百八十八万円

⑤ 八塩二、三号線

一、所在地

起点…黒淵字ボツメキ一—二三

終点…田代字南ノ沢六

二、工事内容 林道開設・舗装

延長…一、七〇〇m

幅員…四・〇m

三、事業費 一億三千四百五十二万三千円



▲林業地域総合整備事業「八塩2号線」

⑥ 沢中線

一、所在地

起点…田代字沢内二—四

終点…田代字深山二八—七

二、工事内容 林道舗装

延長…一、七〇〇m

幅員…四・〇m

三、事業費 四千八百六十七万七千円

町功労者（元町議会議員）

藤原虎之助氏が逝去

町功労者で元町議会議員の藤原虎之助氏が天寿を全うされ、十月二十四日逝去されました。享年八十九歳。



氏は、昭和二十一年から二十余年、村内小学校に奉職し、教員として小規模へき地教育の振興に尽くされました。また、昭和四十三年から十二年間、町議会議員として、地方自治の振興、教育文化、産業基盤の整備に貢献されました。

昭和六十一年には町功労者表彰を、平成八年には満八十歳以上の方を対象にした高齢者叙勲（勲六等瑞宝章）を受けられています。

故人のご冥福をお祈りいたします。

町民との対話を大切に

大台地区町政座談会

大台地区町政座談会（移動町民室）が十一月五日に行われました。

当日は大台地区の皆さんをはじめ、町から町長、企画・総務・建設課長等が出席しました。

阿部幸悦町長の町政報告ではふれあいプラザ“ぶれっそ”完成などの報告がありました。その後の意見交換では、町政に対する多くの要望や意見などが寄せられました。

町では明るく元気の出る町づくりのために、町民との対話を大切にしています。分館、自治会などで座談会などを計画（企画）する場合は企画課までお知らせください。



▲座談会では、大台地区の皆さんと町の意見交換が

町長日記

皆で祝った 合同竣工式

十一月七日に合同竣工式を行いました。

平成八・九年度の継続事業で完成した地場産業センターをはじめ、平成四年度からの団体営農道整備事業四路線、平成五年からのふるさと農道緊急整備事業一路線、平成二年度からの林業地域総合整備事業による林道六路線の合同竣工式でした。

地場産業センターは、地域活性化拠点施設「黄桜の里」整備事業の一環として、黄桜温泉「湯楽里」、お食事処「やしお」に続く第三の施設になります。

生活の利便性向上と地域の農畜産物等の消費拡大を図るとともに、観光・イベントなど地域情報の発信所としての機能が期待され、地域間交流のますますの促進を目的とするものであります。

この施設がふれあいプラザ“ぶれっそ”（すぐそこの意味）の愛称で、町内外の多くの皆様から親しまれ、ご利用いただけますように心から祈念するところであります。

団体営農道整備事業では、平成四年度から五カ年で釜坂、細田、稲子沢、中ノ沢の農道が整備できました。いずれもそれぞれの地域における農業振興に欠くことのできない農道であり、農業生産性の向上に大きく貢献して行くものであります。

ふるさと農道緊急整備事業では、平成五年度から今年度までにかけて宿鳥台線の整備が完了しました。緊急時には県道横渡線の代替道路にもなるものであります。

林業地域総合整備事業では、平成二年度から八年度までに松の沢・新田宿、土場沢、八塩一号、八塩二号、沢中の林道六路線の整備ができました。

た。特に土場沢線は、県の代行業業として採択、実施していただいたものであり、林道としての機能のほか沿線集落の生活道路としても重要な路線となっております。

また八塩一号、二号、及び沢中線は八塩地内にあり、春の黄桜をはじめ八塩ダム、名水「ボツメキの水」、八塩山のブナ林など町内外の多くの人々が自然とふれあい、森林資源を楽しむ活用できることが大きく期待される道路にもなっています。

竣工式では秋田県ご当局、各事業にかかわる用地提供者、工事関係者、事業推進にかかわる多くの皆様に改めて感謝とお礼を申し上げます。

産業・文化の

総決算が一堂に結集

第11回
産業文化祭
11月1日～2日

町民の力作が勢ぞろい!



▲有鄰館前は、常に人であふれていた

十一月一日、二日の両日、東由利町産業文化祭が行われました。
文化祭は、町民が日頃取り組んでいる生産や各種文化活動の成果を展示発表しあうと共に、産業、文化の交流の場にしようと毎年行われている行事。今回で十一回を数えます。
町をはじめ、JA秋田しんせい東由利町支所、東由利町商工会、本荘由利森林組合東由利支所などが中心になって行われたこの祭。初日はあいにくの雨模様でしたが、翌二日は好天に恵まれ、会場である健康増進センター、朋楽荘、有鄰館、町民運動場にはたくさんの方が。両日で六千人の人で賑わいました。



▲芝生広場でディスクゴルフ競技

朋楽荘では老人クラブ連合会の創作展などが、有鄰館では、食堂、ステージ発表、こども祭り、文化講演会などが、駐車場では農畜産物などの販売が行われました。
手作りの風が飾られた健康増進センターでは農産物を中心に、各団体や個人の作品が展示されていました。
新しい企画として、特設どうぶつえんが開かれ子供たちに好評でした。マルチメディア体験コーナーでは、子どもたちや、家族連れなど世代を超えた参加者が訪れ、パソコンに触れていました。



▲永慶、みどり両保育園のこどもまつり



▲保育園児ステージ発表に大人から歓声



▲マルチメディア体験には世代を超えて参加者が訪れた



▲郷土史講話では佐藤講師から興味深い話の数々が



▲熱心に展示物を見るみなさん



▲農産物展では実りの成果を展示



◆文化祭・交通安全作品展◆

東由利町は、日本体育・学校・学校保健センターより交通安全教育推進地域事業の指定を受け、平成9年度、10年度の2年間にわたり交通安全運動を推進することになりました。

今回この事業の啓蒙啓発を図るため、児童生徒より作品を出展していただきました。寄せられた作品の中から、中学生の標語の入選作品を紹介します。(敬称略)

- その一瞬 少しのあやまち 危機おそう 1年 小松大華
- 伊良部も野茂も スピードだすのは 野球だけ 2年 小野 優
- 生と死の 命のかけ橋 ヘルメット 2年 高橋奏子
- 気をつけての一言が 事故防止の 第一歩 2年 畠山貴子
- きちんとつけよう 自分を知らせる 大事なライト 2年 阿部ちひろ
- 緊急 でも 禁急 2年 小松智宏
- 一杯の 酒が地獄の 登竜門 2年 佐藤和徳
- ヘルメット かぶれば 命もついてくる 3年 古関彩子
- 暗い道 自転車無灯 事故のもと 3年 遠藤 梓
- 赤信号 止まらなければ 地獄ゆき 3年 阿部 聡
- 赤黄青 色で守れる自分の命 命がほしければ 信号守れ 3年 佐藤明美
- 事故おこせば 未来の自分 消えてゆく 3年 長谷山亮

- 和服の部
踊り衣装/伊藤栄子(館合第一寿会)
- 造花・手芸の部
おてだま/八嶋ミネ(館合第二寿会)
- 椅子ふとん/小松美代子(宿紅葉会)
- ちぎり絵・はり絵の部
ちぎり絵/渡辺アサ(館合第三寿会)
- わら工芸品の部
荷縄/伊藤隆(蔵壮寿会)
- わら靴/今野タキ(蔵壮寿会)

産業文化祭入賞者一覧(敬称略)

【一般展示物・町長賞受賞者】

- 畑作物部門
サヤエンドウ・三十日絹莢/鎌田武(黒測)
- 花卉部門
バラ・デユカット/佐々木精人(大琴)
- 果実・林産部門
リンゴ・ふじ/小松茂穂(新町)
- 農産加工部門
なす漬/加藤誠子(湯出野)
- 葉たばこ部門
葉たばこ・きたかみ一号/高橋忠男(館合新田)
- その他部門
パッチワーク/小松エイ(松柴)
- 南瓜料理部門
かぼちやのあんかけ/五海保女性部

【シルバー創作展・金賞】

- 野菜の部門
白菜/阿部健之助(蔵壮寿会)
- 果実・穀類の部
キャベツ/小松茂(老方敬寿会)
- りんご・みしまふじ/小松茂(老方敬寿会)
- 小豆/佐藤ヨシノ(黒測福寿会)
- 工芸品の部
コダシ/小松作蔵(黒測福寿会)
- ケラ/伊東隆(蔵壮寿会)
- 盆栽・菊の部
菊/佐々木正隆(宿紅葉会)
- 菊/遠藤昭一(宿紅葉会)
- 果実酒・食品加工の部
瓶詰・たけのこ/佐藤トシ(田代福寿会)
- なす漬/阿部キエ(蔵壮寿会)
- 梅酒/高橋ハツエ(館合第三寿会)

長寿社会を共に寿ぐために

世代を超えた交流の大切さ、実感

平成9年度
福祉と健康の
つどい



高齢社会での福祉の大切さを考えようと、十一月十一日、有鄰館において「平成九年度福祉と健康のつどい」が開催され、町民二百二十余人余りが参加しました。

町の福祉を高めるつどいとして実施
よる体験発表が行われました。
中、高校の児童生徒五人に
八塩小二年佐藤大地くんは「じつち
やとほく」と題して、祖父とのふれあ
いを手紙に託し発表、高瀬小六年の長
谷山未果さんは「ボランティアをやっ

されてきたこのつどい、昨年度から健康とは長寿社会を寿ぐための基礎であるとして町健康大学と共催で行っています。
当日は、主催者として町佐藤知泰収入役があいさつ。引き続き「本町の六十五歳以上の高齢者比率は二八・一パーセントで県内三位という現況をふまえながら、会を通じて一人一人が目的意識をもって福祉活動を」と畑山昭一社会福祉協議会会長があいさつをしました。その後来賓の由利福祉事務所長、本荘保健所長がそれぞれ祝辞をのべました。

てみたい」と題し、ボランティアや手話に興味を持った理由を中心に自分の家族、学校での活動を、大琴小四年長谷山真司くんは「楽しかったよ、じつちや、ばっちや」と題し、祖父母学級を通じて祖父母の技に感心した話をそれぞれ発表しました。

小学生の発表の後に、「ボランティア活動を体験して」と題し、中学校生活最後の夏、東光苑でのボランティア体験を通して感じたことを東由利中学校三年高橋美和さんが、また「サマシヨートボランティアに参加して」と題し、高校生の目から見た福祉の現況と、ボランティアによって自分が少しずつ変わっていった体験を本荘高校下郷分校二年生伊東純子さんが、それぞれ発表しました。

時には笑い、時には考えさせられる子供たちの話を聞きながら、参加者は長寿社会における世代を越えた交流の大切さを実感していました。

体験発表に続いて、「人生、豊かにすこやかに」と題し、由利組合総合病院院長の高野一彦先生による講演が行われました。



▲高野一彦由利組合総合病院院長の講演

高齢者の日常生活の中での健康管理など身近な話題を中心に、分かりやすい言葉と笑いあふれた話口調に会場は終始笑いに包まれました。
また「健康寿命を長くすることが長生きする秘訣である」「歩くことが何よりの健康法。歩くかどには福きたるの心で、日常生活をおくってほしい」等の話に参加者はしきりにうなずいていました。
「長寿を共に寿ぐために、自分はどう行動すべきか・・・」。参加者一人一人が考えていたようです。



▲当日発表した伊東純子さん（本荘高校下郷分校2年）、高橋美和さん（東中3年）、長谷山未果さん（高瀬小6年）、長谷山真司くん（大琴小4年）、佐藤大地くん（八塩小2年）【左上から】

ボランティア活動を体験して 東由利中学校 三年 高橋美和

私は以前からボランティア活動に興味がありました。が、体験する機会がありませんでした。しかし、中学校生活も今年最後なので、何でも自主的に積極的に行ってみようと考えていました。

そう考えているとき、ちょうど学校で夏休みの課題説明会がありました。東由利中学校では、夏休みに一人一人がふるさとについての研究テーマを決めて、「一人一研究」を行うことになっています。

私は今年の課題研究を「東光苑へ行って福祉の仕事を体験しよう」と

いう目標を立て、東光苑へ四回訪問し、福祉の仕事を体験してきました。

一回目の訪問では、友人の直美さんと二人で東光苑へ行き、職員、ボランティアの方たちと一緒にミーティングに参加しました。

私たちの最初の活動は、入所者のみなさんの洗った髪をかわかすことと、つめを切ることでした。自分の髪をかわかすのは簡単ですが、今まで他の人の髪をかわかしたことがなかったのに、とても緊張してドライヤーを動かすのが精一杯でした。

もっと楽しくみなさんとお話をしようと思っていたのですが、少ししか話をするのができませんでした。つめを切るのも同じように、自分以外の人は初めてだったので、とにかく痛くならないように気をつかうことに集中し、うまく会話できませんでした。

この日、職員の方から学んだことは、無言でいると怖がるお年寄りの方もいるので、自分の失敗談や楽しい話をするというものでした。職員の方は食事支度や入浴、洗濯などとてもハードな仕事を次々にこなしていて、「すごいな」と思いました。

二回目の訪問では、おむつたたみとエプロン、タオルたたみを担当す

ることになりました。

おむつたたみは簡単だろうと思っ
ていましたが、とても大変な仕事で
した。布を四枚使って作っていくの
ですが、数がとても多いのでたたん
でもたたんでも乾燥機から次々と出
てきて大変でした。職員のみなさん
は、お年寄りのみなさんの看護をし
ながら、合間をみてこのような仕事
をしていたので大変だなあとと思い
ました。

私たちは午前中だけの活動でした
が、毎日老人福祉の仕事をするのは
とても体力のいることだと思います。
三回目の訪問のときは、三年生の
希望者による体験でした。施設長さ
んに東光苑のことを説明していただ
いてから体験活動をしました。

この日の活動は車椅子を押してお
くくらんどまで散歩することでした。
車椅子を押すのは簡単だろうと思
っていましたが、少しの段差も越え
るのが難しく、押すスピードやカー
ブの曲り方、ステップから足が落ち
ないか、まぶしくて暑くないかなど、
いろいろ注意することがあり緊張し
ました。でも、私の担当した車椅子
のおばあさんがいろいろ話しかけて
くれて、とても気が楽になりました。
車椅子を押しながら会話をし、お
くらんどで一休み。入所者のみな
さんはなかなか外に出る機会がない
ので、とてもよろこんでくれました。
東光苑に泊りながら活動している
ボランティアの人や、職員の方たち

のアドバイスもあり、だいぶ活動に
も慣れてきました。

四回目の訪問では、職員の方が
色々な体験をしたほうがいいのかと
いうことで、おむつ、タオルたた
みの他にデザートにプリンを食べさ
せる手伝いをさせてもらいました。

初めはちゃんと食べてくれるかど
うか不安でした。でも「おいしいで
すか」と聞くと、コクリ、コクリと
うなずいてくれました。この時は東
光苑にきて本当によかったと思いま
した。その他、車椅子での所内の移
動や牛乳ビンの回収など今までで
一番活動できたと思います。

今回の活動を通して、私はたくさ
んのことを学びました。老人福祉の
現場を自分の目で見て体験できたこ
とは、大変ためになりました。そし
てもっと早く活動に参加すればよか
ったなあと思いました。

ちよつとしたことでも何度も「あ
りがとう」といつてくれたおばあさ
ん。おむつをたたみながらいろいろ
な話を教えてくれたお年寄りのみな
さん。仕事の厳しさを教えてくれた
職員の方々。ボランティアを積極的
にがんばる高校生の先輩のみなさん。
私はこの活動で出会った皆さんの
人々の事を忘れないでしょう。

私は将来、福祉関係の仕事につ
きたいと考えています。この夏休みに
体験したことを生かし、高校生にな
ったら、もっと積極的にボランティ
ア活動に参加したいと思っています。

魅力ある農業を目指して

「頑張ろう、東由利農業」をテーマに、十一月一日、有鄰館において平成九年度農業者大会が行われ、農業関係者百余名が参集。新食糧法の施行、米価の下落など町が抱える農業問題を中心に話し合いました。

大会では、まず「農業振興方策の課題と条件」と題し、県立農業短期大学農学科北原克宣講師の基調講演があり、東由利農業の活性化をいかに図るか、調査結果を中心に報告がされました。

その後、同講師をコーディネーターに迎え、町の農業者四人をパネリストにパネルディスカッションが行われました。農業に携わる生の声に参加者一同今後の農業を考えていました。（以下内容一部抜粋して紹介）

平成9年度 東由利町農業者大会

思い、体が続く限りがんばろう
と思います。

阿部陽悦氏（以下阿部と略）…
昭和五十五年頃からブルーベリ
ーをはじめ、ここ七、八年頃か
ら売れ行きも安定しました。

梅津眞子氏（以下梅津と略）…
二十歳で嫁に来てから今に至っ
ております。私が嫁いだ時は、
米を作るだけではなく、プラス
転作が始まっておりまして。と
にかくいろいろ試行錯誤しながら
転作対策を考え、収入までには
なかなか至らなかったのです
が、ミニトマトのハウス栽培に
成功しました。

遠藤拓朗氏（以下遠藤と略）…
祖父と父の経営を引きついで頑
張っているところですが、自作
地としては二ヘクタールぐらい
で、後は受託です。繁殖牛は三
十四頭で、朝から晩まで牛に揉

北原克宣氏（以下北原と略）…東由利農業が厳しい
と言われている中で、
どういったことに頑張っ
ているのか、話してい
た
だ
き
たい
と
思
い
ま
す。

畠山勉氏（以下畠山と略）…水稲三・五ヘクタ
ールを経営しております
が、春と秋の作業受託を
合わせますと十ヘクタ
ールほどを、妻と二人で機
械に頼って作業して
おります。「できるだけやれば
仕事は好転する」という
信念でおりますし、委託
してくれる人は皆神様と



▲北原氏による基調講演

まれています。「仕事に追われ
ずに自分の時間を大切にすること
がモットーで、家族全員そ
んな気持ちです。

北原…畠山さんはこれから規
模拡大を進めるのでしょうか。

畠山…耕作させてもらっている
水田は場所的、作業効率に関し
ては比較的良いと思いますし、
規模拡大はしていけたらと思
います。

北原…心強いお言葉です。畠山
さんのような方が沢山育ってい
ただきたいものです。もう一つ
お聞きしたいのですが、規模拡大
していく上でどういったことが
妨げになっているのでしょうか。

阿部…ブルーベリーに関して
は、収穫が難儀でアルバイトを
雇用している状況です。観光農
園を設置したいと思いますが、
収穫に追われて。とにかく人手
不足が規模拡大の妨げです。

北原…さて東由利の農業全体を
見たときに、一つの大きな課題
となるのが、新しい作物の取り
組みをどう図っていくのかとい
うことだと思うのですが、どう
いったきっかけで導入、また苦
労やその克服方法などを話して
いただきたいと思います。

阿部…最初ブルーベリーに出会
ったのは二十歳の頃。とある研
修で増田町の方からすすめら



▲真剣なパネルディスカッションが繰り広げられた

れ、実際に増田町へ視察と講習
会に行ってから始めました。

難儀した点は、おいしいブル
ーベリーが作れなかったことな
んですが、植酸を使用してから
はおいしいブルーベリーを作れ
るようになりました。やはりお
いしいものを作ればお客さまは
買ってくれる。これが基本だと
思います。

梅津…大琴の集団転作というこ
とで、一番最初は西瓜を八十ア
ールはじめました。西瓜はとに
かく重く作業に難儀だというこ
とで、メロンを始めたのですが、
栽培方法も分からず気象にもや
られ失敗したりしました。

これからは養育費がますます
増大になり、それに反比例し収
入は下がっています。規模拡大、

設備投資も出来ないし、再就職の道もありませんので、現状の規模を維持し、収入をあげるしかないと考えています。

問題もありますが、振り返ってからは前に進みません。また先輩の話しを聞くとみながんばっていますので、苦労とってはいいと思います。

北原…遠藤さんは家に戻られて二年くらいになるそうですが、アメリカから戻ってどういう面で戸惑いを感じられますか。

遠藤…アメリカに行く前に水稻をいくらかは勉強したので、う

る覚えの知識があり、就農の時はそんな不安はありませんでした。

法内集落農場でも機械作業はお世話になっており、助けてもらっていました。

ただ「独立して営め」というすすめもありますが、法内集落農場がありますし、

輪を乱すことにもなりますし、集落的にも果たしてどうかなという悩みもあります。

北原…若い目から見ても、町の農業をどういった方向に持っていくとお考えですか。

遠藤…町では「秋田こまちと由利牛の里」をテーマに

環境をふまえた提言も一つの方法

北原氏

していますが、自分ではとても自然に感じます。牛がいて堆肥が出てそれが自然に還っている、東由利町は牛と米で売っている、こういうサイクルを大切にしたいと思っています。

北原…今、貴重なご意見が出されました。環境問題が大きな社会問題になっている訳ですが、比較的にこの問題に関心を示しているのは、若い世代の方が多いです。牛がいて、その副産物を

水田に還元できるような条件が整っている。そういう方向での農業という提言もこれからの一つの方法だと思っています。

最後に決意表明など一言話していただきますが。

北原…私は小作人としてですが、農家の皆と一緒に農地保全と町のためにがんばってこうと思っています。

阿部…苦しい時こそ、我慢して乗り切っていこうと思います。

また淘汰される時代に淘汰されないよう努力していきます。

梅津…先ずは、何はともあれ健康第一です。体を大切にして皆でがんばりましょう。

遠藤…来年は既存の経営のまま充実させたいと思います。厳しい農業状況ですが、自分自身を充実させてがんばっていききたいと思っています。

北原…これからたくさん課題もあり、今話しがあつたことが一気に解決はしません。ですが、少しずつでも取り組んでいくことが大切です。

そういう意味で皆でなんとかしていくんだという共通の認識を持っていたらと願います。

◆パネリスト◆

畠山勉氏（地下ノ沢）阿部陽悦氏（岩館）
梅津眞子氏（大琴）遠藤拓朗氏（新処）



十一月家畜市場

東由利

区分	頭数	平均体重	平均価格	Kg当単価
去勢	38	299kg	427,322	1,367
雌	16	285kg	284,419	949
合計	54	295kg	384,981	1,243

●最高金額 去勢 518,700 谷秀 宮桜 栃錦
●最高金額 雌 336,000 谷秀 糸勝 安美金

木材共販市況

径級	単価/石	備考
直材30cm上		
同24~28cm	5,500~5,700円	
同14~22cm	5,750円	乾燥材
同14~22cm	5,400円	生材
同13cm下	3,000~3,200円	
曲り材	2,000~3,000円	

（平成九年十一月・平均価格）
四五年生、五五年生

厳しい製品市況を反映し、各径級とも下落。落札量も10%台と落ち込み、今後が懸念される。

林業だより 住宅着工の低迷

今年に入って、五月以降の住宅着工数が著しく減少しています。

全国の一月から七月までの実績を見ると、八十一万三千戸と

昨年の九十一万一千戸の約一〇パーセント減となっています。

また、木造率も昨年よりも一・六パーセント減の四四・七パー

セントと低下し、持ち家着工数の減少が原因しています。

この持ち家着工の減少傾向は、住宅金融公庫のマイホーム

新築資金の申込件数が、一月から七月までの累計で昨年比一四

パーセント減となっていることからもうなずけます。

この状況の中で住宅金融公庫は、本年度の全国における住宅着工数を、昨年よりも一三パーセント減の百四十一万戸と予測しています。

この住宅着工数の減少は、木材使用量の減少につながり、特に木材使用量の大きい持ち家の大幅な減少が、木材価格を下落させているのです。

農林水産省統計によると、国産材丸太価格は、年初めから下落が続いています。

（町林業懇話会会長 佐藤恒悦氏）



▲大いに賑わったフランス鴨ワインパーティー

フランス鴨パーティー

ふるさとの味を充分堪能

フランス鴨生産組合が主催する毎年恒例の「フランス鴨ワインパーティー」が十一月十五日有鄰館で行われ、二百余名がフランス鴨、ワインやうどんなどを味わいながらパーティーを楽しみました。

会場ではフランス鴨料理の数々が振る舞われたあと、東由利、大森、大内町の特産品が抽選であたるお楽しみ抽選会が行われました。豪華な商品が当たるだけに、抽選の度に歓声が響きました。

パーティー会場には、終始笑顔と笑いがあふれていました。



▲寮長に小川校長から任命証が手渡された

寄宿舎生活、がんばるぞ

東由利中寄宿舎入舎式

十一月四日、東由利中学校冬期寄宿舎入舎式が行われました。

式では、小川校長が、「二年生の四人を中心に皆で協力して楽しい集団生活をおくってほしい」と入舎生を激励しました。今年の入舎は、二年生四人、一年生十人の計十四人。柴田知志講師を中心に、来春まで共同生活をおくりまわす。

県中学校の冬期寄宿舎は本校を含め、六ヶ所。長い冬期間、入舎生には健康に気をつけ頑張ってください。



▲嶽石勝男さん



▲畑山藤作さん

秋田県統計功労者表彰

畑山さん、嶽石さんが受賞

平成九年度秋田県統計功労者表彰が十月三十日県庁で行われ、本町の畑山藤作さん（土場沢）、嶽石勝男さん（新沢）がそれぞれ県知事表彰を受賞しました。

知事表彰は、過去三年以上に統計調査に従事し、通算五年以上統計調査に従事され、その成績が優秀な調査員に贈られるものです。

畑山藤作さんは農業センサス、国勢調査、労働力調査など六回、嶽石勝男さんは農業センサスと国勢調査に六回従事し、統計調査の啓蒙普及に尽力されました。

真剣にパソコンに取り組む

初級編パソコン研修会

「パソコンをいかに仕事に利用するか」。十一月十七日から二十日までの四日間、平成九年度町商工会青年部、婦人部活動推進事業の一環として初級編パソコン研修会が行われました。

これは町商工会が商工会員などを対象に行った事業でワープロや表計算、インターネットの利用方法などを講師から指導を受けながら学ぶもの。

十六名が参加した会では、どの顔も真剣。実際に触れながら便利な道具だと実感していました。



▲パソコン研修会ではどの顔も真剣

町特産物料理に舌鼓打つ



▲湯楽里誕生2周年祭の料理

「山紫水明ふるさと御膳」

湯楽里誕生2周年祭

いました。また全組に正月用菜箸一組が贈られたほか、毎日一組に特産品のプレゼントもあり、当選者は二重の喜び。

母へのプレゼントですと、能代の阿部さん。「料理もおいしく、施設はきれい、皆さん親切ですね。来年もぜひ」と話してくれました。また秋田市の工藤さん一家も「湯楽里の雰囲気良く、今までに見たことがないです」とのこと。

湯楽里では「感謝の二文字をふる里の味に変え、各団体の協力を得て用意しました。好評なメニューについては宴会などのメニュー化を検討しています。今後とも湯楽里をよろしく」と話しています。

黄桜温泉「湯楽里」が道の駅「東由利」地内に出来て二年。町内のみならず町外にも知られた施設に成長しました。この度、日頃の感謝の気持ちを形にと、十一月十二日から四日間、誕生二周年祭を開催、抽選で二十五組、百人を招待、倍率は三十八倍でした。

当日の料理は、沢もたしのしぐれ和え、フランス鴨のささみ刺身、特選由利牛すき焼き、八塩山麓清流の岩魚塩焼き、あけびの味噌天麩羅、かに味噌、もくず蟹味噌仕立て、あきたこまち、農協女性部のつけもの、ブルーベリーワインなど。「山紫水明ふるさと御膳」と題してプレゼントされたこれら特産品が中心の特別料理に招待者は大喜び。しきりに舌鼓を打って



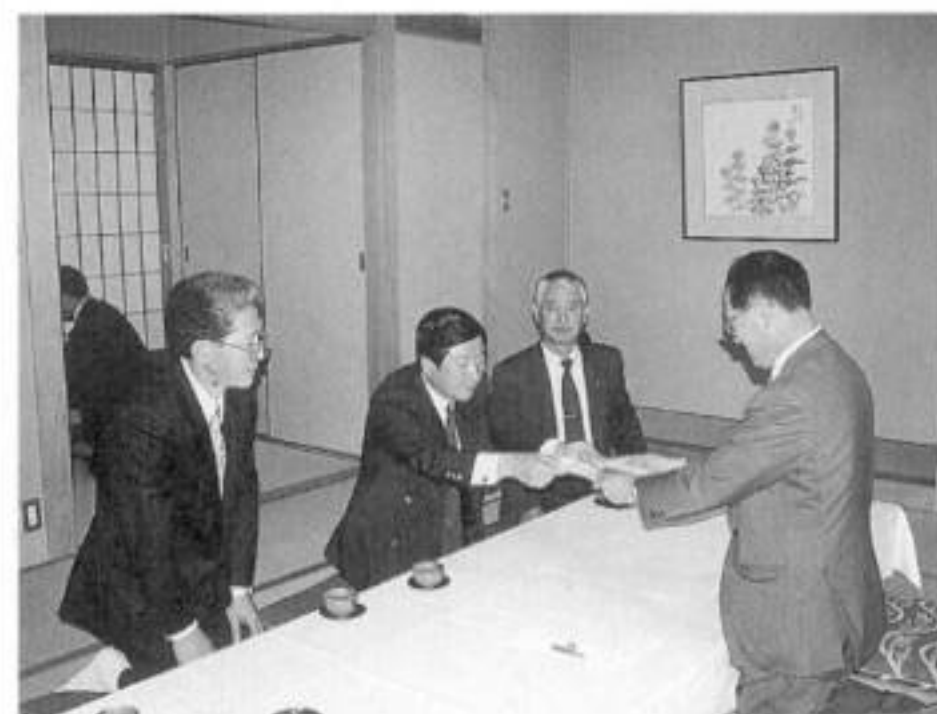
▲当選した家族の皆さんも満足でした

町の道路のため、出来る事

東北電力街路灯寄贈十国道ごみ拾いボランティア

十一月五日、平成九年度東北電力グループふれあいキャンペーンにあたり、夜間の交通安全対策にと、本町に街路灯十基および設置工事一式が寄贈されました。寄贈を受けた箇所は黒瀬線に三箇所、新沢線に六箇所、祝沢線に一箇所の計十箇所です。

また十月二十八日には東北電力の有志の皆さんにより小雨の中、国道端ごみ拾いのボランティア作業が行われました。



▲東北電力から街路灯10基の寄贈を受けた

子も親も頑張っています

八塩小、こども郵便局+PTA表彰

八塩小学校の子どもたちが運営している子ども郵便局。日頃の積極的な活動が高く評価され東北郵政局から表彰されました。十月二十日仙台で行われた表彰式に、秋田県からは本校を含め三校が出席、表彰状を受け取りました。

また、平成九年度優良PTA文部大臣表彰団体として八塩小PTAが表彰を受けました。同表彰は、PTAの健全育成と発展を図ることを目的としたもの。同PTAの活発な活動が評価されました。



▲大久保校長と八塩子ども郵便局のみなさん

東由利文化クラブ

虫歯
なんてない
も〜ん。

三歳児健診

() 内は

保護者

こまつれおくん

山崎(重文さん)

こまつけんたくん

船木(達也さん)

はたけやまかずしげくん

上通(繁光さん)

おおつかちさとちゃん
板戸(茂さん)

いとうみすずちゃん
蔵新田(寿栄さん)

こまつりのちゃん
下通(敏貴さん)

はせやまえみちゃん
八日町(徳保さん)



二歳児健診

() 内は

保護者



はたやまはるかちゃん

大夢(敏則さん)

こまつゆりえちゃん

石高(嘉明さん)

はたけやまなつはちゃん

袖山(孝さん)

ささきみくちゃん

大夢(精八さん)

だけいしかけるくん

山崎(伊久雄さん)



さとうわたるくん

時雨山(俊孝さん)

いとうりょうたくん

横渡(寛さん)

うめつしょうくん

大夢(和彦さん)

さとうはるきくん

笹沢(隆さん)

おのしょうたくん

須郷田(久一さん)



東由利の文芸

せせらぎ句会

舞い落ちし冬の紅葉を書にはさむ
いたわりの一声嬉し暖炉燃ゆ
柚の家は香の物にも菊の花
湯豆腐のおどり始めをまず掬う
短日の日を拾うごと野菜摘む
雪囲灯し少なき山の里
石路咲きて音なき雨の続きけり
夜長の灯使いつくして探し物
腰の山刀かたかた鳴らし雪囲い

蔵新田 小笠原トミ
蔵新田 小野 貞子
秋田市 嵯峨 義之
横渡 高橋ヒデ子
蔵新田 小笠原亮子
湯出野 菊地 常作
下通 小松 忠正
上里 小野石路子
湯出野 佐藤 正義

初霰道路工事の旗振り女
枯菊といふには惜しし切らで置く
ねじれ木の根性見ゆる滑火かな
秋深む藍の水面に放つ鯉
風の名を仔牛に選み冬初め
木枯に踏ん張りしまの稲架を解く
深廂糸に連なり柿のれん
裏口せまく一人住いの冬囲い
荒縄のとぐる巻き癖雪囲ひ
熊の肉さばく手早さ人だかり
冬紅葉小雨の散らす柚の庭
今朝の冬鳥海もろにひきよせて
炊飯の匂ひ日の出が初霜に

五海保 嶽石 レイ
横小路 宮野源二郎
山崎 小松 良子
中通 小松順之助
蔵 阿部 澄子
久保 高橋 典三
高戸屋 小松 敏雄
時雨山 吉川 葉子
家ノ下 小松 正昭
下小路 小松 女沙
小倉 遠藤トミ子
船木 大庭喜石門
袖山 高橋 薫青

アイドルをさがせ!

あおい
高橋葵ちゃん(3歳)
お父さん:勝敏さん
お母さん:真美さん
【館合新田】



正座をしながらしつかりお話し
をしてくれた葵ちゃん。「すきな
ものはくだもの、つみきあそび、
おかあさんのやさしいところ。き
らいなものはゆうれい」とハキハ
キ答えてくれました。

「人みしりはするけれど、家に
いる時は元気で、お話しするのが
好きですよ」とお母さんの真美さ
ん。ひいおばあちゃんのハツエさ
んは「朝、両親が車に乗って出か
ける時見送りが出来ない和不機嫌
です。それから車が好きなので、
将来は私を乗せてドライブに連れ
ていくよというんです」と話して
くれました。

将来は車の運転手になりたいと
いう葵ちゃん。「健康な大人に」
というお母さんの願い、届くかな。

童話を

あなたに

クリスマス編

北極にそれはさむがりのサンタがいました。真夏の砂浜を夢みていて目覚まし時計が。「やれやれまたクリスマスか」。窓の外は雪。それでもおいしい紅茶をいれて赤い防寒具に身を包みいざ出発。トナカイは空高く駆け上がっていきます。天気予報は雪、また雪。さあ、さむがりのサンタは無事にプレゼントを届けることがで

きるでしょうか。

この絵本は大好きな一冊で小学校の時、図書館で見つけたもの。「やれやれまたクリスマスか」、いくつになっても読んでいるうちに本の中のサンタと一緒にいるみたいでとにかくおかしい。絵もとても繊細でぬくもりのある色使い。なによりちよっぴりへそまがりのサンタがいい。

靴下にプレゼントもいいます。一度、心を贈ってみませんか。かたはなはいけれどぬくもりあふれるラッピングできっと寒いクリ



さむがりやのサンタ

愉快な町に郵便屋さんが出てきた。町の中はとも楽しそう。郵便屋さんのバッグの中には、たくさんの手紙がつまっています。クリスマスを祝う皆の元に届ける

スマスに忘れられないプレゼントになるかもしれません。

大切な手紙、かわいい手紙、愉快な手紙。町に雪が舞い降りてくるころサンタさんのお家へ最後の配達。そこで郵便屋さんはすてきな手紙を受け取ります。それは・・・。



ゆかいなゆうびんやさんのクリスマス

手紙が届くのですが、その手紙がちゃんとページごとに封筒に入っているのです。まるで自分が受け取ったみたいワクワクします。誰でも自分あての手紙に多少なりに期待しませんか？。電話で伝えることは簡単ですが、文字や絵も気持ちを伝える大切な手段。子供たちの書く絵や手紙もこんな愉快な郵便屋さんが届けてくれていたのかも。「ハイ！郵便」って笑顔でね。

紹介者：小野邦子さん（宿）

イベント

文化委員長を

終えるにあたって

下郷分校 三年

大田 希さん



文化委員長を務めて、大きな責任を感じとても不安な時期が初めてありました。

それは十一月二日に行われた愛郷祭（下郷分校の文化祭）という年に一度の大イベントの準備期間

中のことでした。

これまで、先生に指示されたことを実行するだけだった気がしますが、今回は、企画から運営まで、そのほとんどを任せられ、想像を超える苦労がありました。

もちろん私だけが苦労したわけではありません。愛郷祭を成功させようというみんなの努力がありました。私もその頑張り随分励まされました。

おかげで、今年の愛郷祭は例年になく盛り上がり、私だけでなく、多くの人たちが満足のいくものだったと思っています。

舞台発表、各学年によるクラスデコ、展示、喫茶など、どれもこれもすばらしいものでした。後になつてみると、苦労はして見るものだなと思いました。

来年に望むことは、ぜひ今年以上の愛郷祭にしてほしいということとです。これから先もすばらしい下郷分校を生徒全員で創り上げていってほしいと思います。

むかしむかし

六

化け太鼓で恩返し

むかしむかし、法内むらの極楽寺に新助という寺男が住んでいました。寺の使い走りや庭そうじのかたわら、畑に豆や瓜などつくっていました。

毎晩のように瓜が盗まれるので、瓜泥棒をつかまえてやろうと、夜更けに目を皿のようにして見ていると、ガサッガサッと音がします。よく見ると、それは二匹の親子狸でした。

「こらッ瓜泥棒ッ」と親子狸をつかまえました。親狸は「ごめんしてけれ、この子狸にお乳が足りなくて、わるいと知りながらついつい・・・」とあやまるのでした。

寺男の新助はかわいそうに思い、瓜と青豆一把もたせて逃がしてやりました。翌日、親狸がやってきて「昨夜はえがたなあ・・・お礼に太鼓

に化けるから、村廻りして見て欲しい」と、ええごであるがら・・・と言って、くるりぽんと太鼓になりました。

寺男の新助は、太鼓を肩にして、村の家々を廻りました。「・・・梅の花コも一さかり、桜の花コも一さかり、ハアポンポコポン」といせよく太鼓をたたくと村々の人たちは、「こんなきれいな音のする太鼓はじめてだ。何だか浮かれてきた」とほめてくれました。そしてたくさんのお金をいただきました。

こうした評判を聞いた村の若者たちは、狸の化け太鼓とも知らず、借りにくるようになりましたが、力強くたたくので狸の太鼓もいたくて大変です。それでも日頃の罪ほろぼしになればと、じつとがまんの親狸でした。

美しい音色は、遠くの山里まで高くひくく流れて



るのでした。

この寺男は、以前、根城館の戦で火縄銃の真木新助といわれた侍でした。殺しあいのむなしさから、刀も自慢の鉄砲も捨て、極楽寺の寺男になり一生を送ったといえます。多くの村人にしたわれた、こうしたやさしい心が語り草になりました。

（文と絵：石渡力造氏）

12月▶データ東由利

〈11/1~31〉

住民基本台帳人口 () は前月比

■男	2,600人 (3)
■女	2,746人 (2)
■計	5,346人 (5)
■世帯数	1,399戸 (1)

() は1月からの累計

・出生6人(35)・死亡5人(50)
・転入8人(78)・転出4人(92)

■火災出動	0件 (2)
■救急出動	4件 (93)
■交通事故	0件 (12)
・死亡	0人 (0)
・傷者	0人 (14)
■飲酒運転	0人 (0)
■酒気帯び	0人 (3)

東由利

郷土の野草

NO.154

「ヤマドリゼンマイ」
(ゼンマイ科)

中部地方以北の湿った山地に多く生えるゼンマイによく似た宿根性のシダで、ゼンマイと外見は大きな違いはありませんが、やや大形でアケも強いようです。裸葉(ここではおなごゼンマイといいます)と胞子葉(おとこゼンマイ)の別があります。



山で大群落に出会うことがありますが、なぜかこのゼンマイは敬遠されてあまり採集されません。食味も処理法もゼンマイと殆ど同じで、こちらのほうが軟らかいという人もいます。健胃、整腸の薬効もあるといえます。

文・写真
小松忠正氏

広報クイズ

問・今年も始まった
中学校の寄宿舎。さ
て今年の入舎数は?

①十四人②五人③三十人。答えが分かった方ははがきに答え、住所、氏名、年齢、広報の感想などを書いて、東由利町役場広報まで。締切は十二月十九日です。

前回の解答は②県立図書館でした。小野誠悦さん(雄物川町)、畑山文三郎さん(江戸川区)、大家隆さん(小山市)以上の方が正解しました。



12月の行事予定

- 7 町母子寡婦料理・健康講座 (有鄰館)
- 9 ことぶき大学
- 10 民生児童委員協議会
- 10 農業振興対策会議
- 11 町保健対策推進協議会
- 16 12月議会定例会(予定)
- 17 東光苑クリスマス会
- 21 高橋宏幸賞童話
秋田県コンクール表彰式
- 22 大平スキー場開き
- 23 天皇誕生日
- 25 農業委員会
- 25 小・中学校
終業式
- 26 仕事納め



戸籍の窓口

(10月21日~11月20日届出)

●お誕生おめでとう

10/19 齊藤 颯人くん(一子) 新町

●結婚おめでとう

10/25 工藤 辰也さん 久保
齋藤 美紀子さん 平鹿町

11/1 畠山 修さん 地下ノ沢
竹島 香織さん 象潟町

●ごめい福をお祈りいたします

10/22 佐藤千代作さん(97・タキ・父) 大吹川

10/23 神坂 キヌさん(67・昌光・妻) 宿

10/24 藤原虎之助さん(89・リツ・夫) 上通

10/29 佐藤ヨシミさん(77・盛永・妻) 新沢

11/3 遠藤キチノさん(76・ハチ・母) 新町

11/20 畠山マサコさん(84・文一郎・母) 大吹川

町の宝もの

第68回

写真の石は高さ四十三センチメートル、下部の周囲一メートル十五センチ、重さは六十キログラムほど、表面はかなりの凹凸があつてつかみやすくなっています。石は阿部久孝さん宅の龍神様の



県内では琴丘町鯉川地区の「あねこ石祭り」が有名で、村人たちが約八十キログラムの石で力を競い合っており、かつて抱き上げると良縁が授かると言われ、あねこ石を供養しています。

文・畑山昭一氏

町社会福祉協議会に阿部富八さん(中通)、藤原陽太郎さん(上通)、佐藤タキさん(大吹川)、佐藤盛永さん(新沢)から芳志が届けられました。ありがとうございます。

アトリオンで紙芝居を
十二月十四日(日)午後一時~二時、秋田市アトリオンにおいて、秋田県が主催する「秋田弁の昔っこ・十二月例会」が開かれます。本町からは紙芝居で石渡力造さんが出演されます。入場無料ですのでぜひおいでください。